

道連ニュース

2011年8月号 No.62

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

10/6のIYCプレ北海道集会を審議

～道連第2回理事会が開催されました～

8月4日、道学校生協伊東理事の議事進行で第2回理事会が全労済北海道会館にて開催されました。

報告事項は①一般活動経過＝T P P署名は3,5千筆集約し、7月末に中央要請、②第1四半期決算、③北海道他からの通知、④2011年度日程、⑤日生協東北地連＝下請法・郵便法でした。

議決事項は①道労働者共済生協への役員推薦、②役員報酬明細、③被災生協への見舞金拠出、④コープさ

っぽろ主催企画への後援、⑤道連の今後のあり方検討会設置の件で、いずれも議決されました。

又、①中札内生協への支援、②IYCプレ北海道集会、③来年度の総会運営＝P M開催で代議員交流＝について審議しました。

尚、会員生協の交流として、道住宅生協吉田副理事長より、創立50年の歴史と今日の住宅生協の取組みのご報告を受けました。

IYC(国際協同組合年)プレ北海道集会開催のご案内

国連が呼び掛けている2012年の国際協同組合年のプレ北海道集会を開催致しますのでご案内申し上げます。国際協同組合同盟(I C A)役員でもあるフィンランド生協連(S O K)の国際担当役員アンネ・サンタマキ女史をお招きしてご講演を戴きます。多数のご参加をお待ち致しております。

日 時	2011年10月6日(木) 『記念講演』 午後2時～4時30分	場 所	ホテルポールスター札幌 2階
演 題	「フィンランドでの協同組合の紹介と日本への期待」(仮題)		
講 師	アンネ・サンタマキ女史(フィンランド生協連国際担当役員・国際協同組合同盟役員)		
共催団体	J Aグループ(道中央会・道信農連・ホクレン・道厚生連・共農連道本部)・共栄火災海上保険道支店・J Fグループ(道漁連・道信漁連・道漁業共済組合・共水連道事務所)・道森林連・道労福協・全労済生協道本部・道労働金庫・北海道生協連		
協賛団体	道生産性本部・コープさっぽろ・日本生協連	後援団体	北海道・道フィンランド協会
お問い合わせ	北海道生協連 ☎011-841-8601		

北海道医療生協 第8回「戦争の記憶を語り継ぐつどい」を開催!

今年で8回目になります『戦争の記憶を語り継ぐつどい』が8月2日(火)、「助け合いの会」の方々、組合員さんとで49人の参加があり、その中には、親子、おばあちゃんと来ていた小学生の参加もありうれしく思いました。

おとしは被爆者協会会長の越智さん、去年は中国帰国者の平田さんの体験談をお聞きましたが、今年は「助け合いの会」組合員さんの中から4名の方に戦争体験のお話をして頂きました。現在88歳の女性は、名古屋にいて昭和19年B29による空襲時に暑くて防空壕にも入ってられず大声で泣く幼い子を防空頭巾に抱え、父、兄、夫を待ち続けた。その後無事の知らせ、ラジオから戦いは終わったと聞いたが信じられずにいた。その後列車で数日かかり母とともに北海道に来

たそうです。今でもあの時のことは鮮明に覚えているとの言葉が重く感じられました。

戦争の悲劇を風化させないために、一人ひとり出来ることを取り組み、このつどいを毎年開催していきたいと思います。



「助け合いの会」組合員さんからの戦争体験談は吸い込まれていくお話でした

お知らせ 道連ホームページに『T P P』の取り組みを掲載!

北海道生協連では『T P P(環太平洋連携協定)』に関する取り組みを行政や他団体とともに連携をとりながら中央要請行動や署名活動などに取り組んできました。その間の報告を当会のホームページに掲載しましたので、お知らせいたします。

生活クラブ生協では1994年から毎年文化委員会企画で「ひろしま・ナガサキ平和行動」に参加しています。今年は「ナガサキ」市内に着いてすぐに長崎さるく（まち歩き、散歩）コースマップをもとにフィールドワーク。今も残されている、原爆落下当時の痕跡や被爆遺構、原爆資料館などを被爆体験者である平和案内人に説明をいただきました。

長崎に人類愛に満ちた研究者「永井隆」という博士がいた。被爆で頭部に重傷を負い、白血病と闘いながら被爆者の救援活動に奔走。被爆前から患っていた白血病の進行で、寝たきりになっても戦争の悲惨さと世界平和を訴えた数多くの作品を執筆。1951年43歳で亡くなり、最後まで一途に平和を唱え、原爆反対を叫び続けた人で印象に残りました。

高齢の被爆体験者の語り部の方から「過去に目をつむることは未来にも盲目になることだ」聞いてください、知ってください、そして次世代に伝えてほしい

「あなたたちが生の体験を聞く最後の人たちだから」と痛々しい体を押して話して下さいました。

長崎では小・中学校のカリキュラムの中に平和学習が組み込まれています。

北海道でも子ども達も含めて平和学習は必要だと思います。次世代の子どもたち、またその子どもたちが核や放射能などに脅かされる事のない平和な未来と一緒に考えていきたいから。

声を大にして人類の未来に原爆はいらない！核もいらない！と言続けなければと改めて思い知らされました。



原爆落下中心地碑で国内外の鎖に参加しました

北海道労済生協 ホームヘルパー養成講座 2 級課程を開催します！

当会では1996年からホームヘルパー養成講座を開催しています。今年も4月に2級課程の講座を開講し24名の修了生を出し、今までに996名が修了いたしました。修了生は当会の在宅介護サービスセンターのヘルパーをはじめ、他のヘルパーセンター・デイサービスセンター・介護施設などで、高齢者の自立した生活のお役にたっています。

今年も2回目として9月27日から2級課程を開催することとなりました。9月の開催内容は次のようになります。約2ヶ月間で、ベテラン講師陣により週に3～4日の無理のない日程で組んでいます。また、修了時に介護の仕事を希望される方には、当会の在宅介護サービスセンター、その他の介護事業所をご紹介します。詳しくはお問い合わせください。

受講期間	2011年9月27日～11月22日
定員	30名
会場	全労済北海道会館（札幌市白石区菊水3条4丁目1-3）
受講料	55,000円（テキスト代・実習費等含む）
連絡先	全労済ホームヘルパー養成講座事務局 011-818-8833



4月開講の様子で、修了生は延べ996名になります



コープさっぽろ

第8回コープさっぽろ農業賞現地審査が進んでいます

消費者の目線で道内の向上心の高い農業生産者に光を当てて表彰するコープさっぽろ農業賞は2004年から始まり、今年の8回目をもって終了となります。

8回目の応募は農業の部86件、漁業の部7件、交流の部21件の合計114件でしたが、初回からの累計では、農業の部852件、漁業の部62件、交流の部107件、総数1021件となり、全道各地からの応募へと広がりを作ることができました。今年取り組みも例年通り6月中旬の審査委員会で現地審査対象として農業10件、漁業3件、交流3件が選ばれ、7月末から16ヶ所の現地審査が始まり、8月末までに各賞候補5件を残して現地審査が進んでいます。

10月中旬には知事賞・コープさっぽろ賞をはじめとした各賞の審査委員会が開催され、11月11日に表彰式が行われる予定です。表彰式には高橋知事をはじめ、実行委員にご協力頂いた各社代表にも参加を頂き、12年度へ向けての取り組みも一端の報告を行う予定です。



審査対象16件の現地審査が行われています